

川 辺 川 ダ ム 建 設 の 概 要

五木村役場総務課
平成20年9月調書

1. 人 口 1,403人 (男 664 人 ・ 女 739 人)
65歳以上 (男 222 人 ・ 女 346 人)
2. 世 帯 553世帯
3. 面 積 25,294 ha (山林 24,290 ha ・ 耕地 236.9 ha
宅地 26.7 ha ・ その他 740.4 ha)
4. 主要産業 (平成17年国勢調査)
第1次産業 96人 (15.9%)
第2次産業 159人 (26.4%)
第3次産業 384人 (57.7%)

5. ダム建設の目的

- (1) 洪水調節 ダム建設地点における計画高水流毎秒3,520m³うち毎秒3,320m³洪水調節を行う。(球磨川流域 2市10町村)
- (2) 流水の正常な機能の維持
下流の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持と増進を図る。
- (3) かんがい 川辺川及び球磨川沿岸の約3,400 haの農地に対するかんがい用水の補給を行う。(1市5町村)
- (4) 発 電 川辺川ダム建設に伴って新設される相良発電所において最大出力16,500 kwの発電を行う。

6. ダムの規模

- | | | | |
|----------|--------------------|----------|---------------------------|
| イ) 提 高 | 107.5m | ロ) 提頂長 | 約300m |
| ハ) 集水面積 | 470km ² | ニ) 総貯水容量 | 133,000,000m ³ |
| ホ) 常時満水位 | EL280.0m | ヘ) 最低水位 | EL239.0m |

7. 水没地区の規模

- (1) 人口及び世帯 (S56.4.29補償基準日現在)

	全 体 数	水 没 数	水没率(%)
人 口	3,356	1,457	43.4
世 帯 数	1,019	493	48.4

(2) 面積

地目別	田	畑	山林	宅地	その他	計
水没面積	19.0	35.9	139.9	21.0	28.5	244.3

(3) 公共施設

(イ)村役場 1	(ロ)高校 1	(ハ)中学校 1	
(ニ)小学校 1	(ホ)森林組合 1	(ヘ)診療所 1	
(ト)農協 1	(チ)消防署 1	(リ)保育所 1	(ヌ)駐在所 1
(ル)郵便局 1	(ヲ)公会堂 3	(ワ)児童館 1	
(カ)営林署 1	(ヨ)商工会 1	(タ)神社 2	(レ)寺院 1
(ソ)発電所 2	(ツ)県道 10, 210 m(付替道路)		
(ネ)村道 4, 726 m(12路線)	(ナ)林道 1, 000 m(1路線)		
(ラ)その他 鉦区権 3	漁業権 1		

8. ダムの必要な理由

(1) 治水関係

災害の状況 本村は昭和38年1月の豪雨に始まって8月の大水害、39年8月の14号台風、40年7、8月の水害及び15号台風と3年連続災害を被り、その総額は45億円に達した。

38年 8月	人的被害	死者 10名	行方不明 1名	負傷者 6名
	家屋被害	全壊及び流出 144戸	半壊 45戸	
		床上浸水 72戸	床下浸水 83戸	
	被害総額	農林水産ほか 32億円、1日最大雨量 575.6mm 時間最大雨量 140.0mm		
39年 8月	人的被害	なし		
	家屋被害	全壊及び流出 4戸	半壊 13戸	
		床上浸水 29戸	床下浸水 75戸	
	被害総額	7,940 千円		
40年 7月	人的被害	なし		
	家屋被害	全壊及び流出 25戸	半壊 13戸	
		床上浸水 49戸	床下浸水 107戸	
	被害総額	82,775 千円		

(2) 利水

目的で述べましたが、下流域の農地3,400 haのかんがい及び16,500kwの発電用として計画されている。

団体名	区分	世帯数	設立	代表者
川辺川ダム対策同盟会		83	S51年5月	照山哲榮
五木水没者対策協議会		24	S52年8月	松本泰人
五木村水没者地権者協議会		21	S48年5月	佐藤孝